

ワークショップ 「メンバーによるフェアウッドな取り組み紹介」その2

フェアウッド研究部会は4年目を迎え、メンバーは136名(団体・個人)、のべ参加者もおおよそ1,500名になっています。様々な立場・業種の皆さまが、森林・林業、木材利用に対して、ご自身の関心と目的をもって参加されることで、生産的かつ楽しい話し合いが行われてきたと感じています。

このような流れをさらに加速させるべく、今回の研究部会では前回に引き続き、メンバー企業のフェアウッドな取り組みとして製品・サービスをご紹介いただくワークショップを企画しました。フェアウッドのメンバー同士の将来的な連携・協業の可能性を探る機会として、多くのメンバーのご参加をお待ちしております。

- 【講演】 2019年 4月 17日 (水) 17:00～20:00 (開場 16:30)
 【場所】 地球環境パートナーシッププラザ (東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学ビル1F)
 【会費】 ￥3,000 (懇親会費1,000円を含みます。当日受付でいただきます)

※内容は予告なく変更することがあります

第1部 ワークショップ

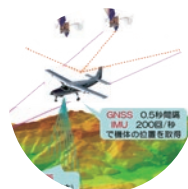
1 木を通じて「笑顔」を育む「本物の国産●自然塗料」(株式会社シオン)



塗る人の多様な好みと、塗られる木の樹種、産地といった多様性に応えることで、木のある暮らしにそっと寄り添うシオンの塗料。簡単に手に取れて安全に塗ることが出来るので、「木のやさしさ・木の心地よさ・木の楽しさ」を伝えることが出来ます。さらに、高い防炎性、耐候性は木を活かす場を増やします。ストーリーのある木と塗料で多くの方をhappyにしていけるパートナーを探しています。

2 宇宙(そら)から見守る森林資源、空(そら)から測る森林資源(株式会社パスコ)

森林破壊・違法伐採など、企業活動が森林に与える影響が問題となる一方で、企業等の集団の力による環境保全等も進んでいます。パスコの計測技術は、人工衛星画像やAI技術などを活用し、熱帯林等の破壊や劣化、その対策である植林・育林等の保全活動を、土地変化情報として捉えます。また、航空レーザー計測による森林資源解析技術を活用し、より精緻に森林資源量を把握します。これら森林情報の見える化・定量化技術により、企業活動が森林に与えるネガティブ・ポジティブ情報を集約します。



3 地域の資源を財産として活かす。トドマツ林が生む地域の循環(株式会社北海道ポットラック)



ポットラックという言葉には「あるものを持ち寄って開催するパーティ」という意味があります。北海道で最も蓄積量の多いトドマツの活用をメインに、新しい時代の木の使い方を提案しています。商品企画からまちづくりのコディネートまで、森林を通じた循環をプロデュースします。

第2部 懇親会

【お申し込み】



お申し込みフォーム(<https://ssl.form-mailer.jp/fms/0fb016c0441802>)にてお申し込みください。
 フォーム記入ができない場合、「第37回フェアウッド研究部会参加希望」と件名に明記の上、
 ①お名前②ふりがな③ご所属(組織名及び部署名等)④Eメールアドレスを、
 メールにてinfo@fairwood.jpまで送付ください。
 ※定員60名

【お問合せ】

地球・人間環境フォーラム(担当:坂本)
<http://www.fairwood.jp>, info@fairwood.jp, TEL: 03-5825-9735
 ワイス・ワイス(担当窓口/広報課 野村)
<http://www.wisewise.com>, press@wisewise.com, TEL: 03-5467-7003